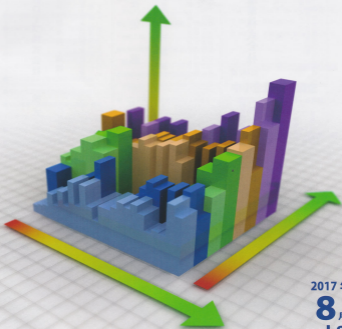


発行所 一般財団法人 経済産業調査会 近畿本部

月刊  
RIETI  
リーチかんさい  
KANSAI



2017年  
8月号  
vol.89



丸嘉株式会社  
MARUKA CO., LTD.

## 株式会社丸嘉



株式会社 丸嘉

### ◆木にこだわり続けて158年 新しい時代の木材商を目指して

当社は、安政6（1859）年に福井県小浜村にて木材商として創業し、代々「木」に関わる事業を営んで参りました。京都へは二代目（現社長の曾祖父）のときに移り、さらに先代のときに伏見区へ拠点を移し、私（現社長）が五代目となります。

最近増えてきているのが、古民家を解体した後の木材を買い取って製材し、それを店舗や新築の住宅の業にデザインとして古材を施工する事業です。

現代の住宅は、徐々に和室が減ってきています。そのような実情の中、当社では一つの古材をデザイン的に活用する方法として、「古きを訪ねてあたらしきをつくる」という温故知新的な発想で取り組んでいます。

### ◆2つの柱「無垢フローリング材販売」と「古材販売」

#### ○無垢フローリング材販売

当社は、もともと総合木材商として様々な材・建材を取り扱っていましたが、約12年前から専門店に特化しようということで、主に2つの事業を展開しています。

1つは、輸入木材を中心とした天然木の「無垢フローリング」の販売です。「無垢フローリング」はプリントやベニヤ板とは違い、天然木そのものを床材に活用し、木が本来持っている味や趣、空気などが活かされている商品です。

京都の木材業界では、府内産木材を積極的に使おうという風潮があります。しかし、当社では商品の7割を輸入木材が占めております。世界には多種多様な木材があり、これらを使用した輸入建材は、製造国ごとの深いこだわりが感じられます。多種多様になったライフスタイルに合う良質な素材をお届けできる様、世界中から深い味わいを持



無垢フローリングショールーム



古材ショールーム

った素材を選んでいきます。

#### ○古民家・京町家の古材販売

無垢フローリングを取り扱って行く中で「木の良さ」をもっと引き出す方法はないかと考えるようになりました。木材は乾燥し続けて100年くらい利用すれば強度が強くなり、味わいが深くなります。幸いにも京都は戦禍を免れていることから多くの古民家が残り、古材が豊富です。そのため、多くの方に古材の良さをわかっていただきたいと思い、2つ目の事業となる「古材販売」を始めました。

古材事業は、想定以上に資金や倉庫などの場所を必要とする事業です。また、古材の樹種や特性などの日利さが大変重要となります。木の特性などを深く理解していないと、古材を商品として取り扱うことはできません。大変ニッチな事業なので、その中で展開するには新しい時代の木材のスペシャリストになるべきだと考えています。これ

までの経験を活かし、現在では、国内に限らず北米などの海外の古材も取り扱っております。

伏見区にある当社には、「無垢フローリング」と「古材」の2つのショールームがございます。ここでは、木材の専門知識を持った「ウッドコンシェルジュ」という女性スタッフが床の手入れや使い勝手などを考え、お客様の住宅の材料選びを女性目線でお手伝いしています。

#### ◆ウェブによる全国展開

集客方法として、2000年から複数の自社ウェブサイトと積極的に活用しています。最近では、自社のウェブサイトとSNSを連動させることにより、全国各地からお客様にお越しいただける仕掛けができました。

社内のITの仕組みとして、「システム構築」「サイトデザイン」「ウェブ広告」「サイト更新」「機器選択・接続」「SEO対策」「SNS運動」について、

それぞれの外部の専門スタッフと組み、中小企業でありながら高スペックなウェブ運営を可能にしています。このように、大手企業のような人員が社内になくとも、外部のスタッフとアライアンスを結ぶことでこのスキームを達成しました。このスキームは、公益財団法人 京都高度技術研究所の認定事業「オスカー認定」をいただくきっかけともなりました。

## ◆新しい「ものづくり」への挑戦

古材事業を始めてから、去年(2018年)で12年目を迎えます。これまでは、解体された京町家などの古材を買い取り、釘を抜き、丁寧に洗浄し、磨き込んでいるところは切り落とし、更にもう一度丁寧に表面を磨き込んでから販売してきました。

そこからもう一歩踏み込んで始めたのが、古材を「部品化・部材化」して組み合わせ、テーブルなどの家具としての製品に創り上げる事業です。京都工芸繊維大学大学院 野口企由教授と産学連携し、古材が持つ趣きのある風合いを活かしつつ、デザイン性や機能性にもこだわったシステムキッチンや家具などを作っています。

結露で長いものは1本の古材梁として店舗などで使える一方で、短い古材はこれまで廃棄せざるを得ませんでした。しかし、ピースとして「部材化」することで再利用ができます。このように古



解体した古民家から買い取った古材

いものを新しい価値に変えて活かしていくことは、京都らしい発想だと私は考えます。

この事業を開始した頃は、古材の市場性はまだまだ皆無に等しく、古いものを再利用するということは木材業界からすれば非常識な発想でした。そのため受け入れてもらうのはなかなか難しく、同業者からも「古い木を集めて、何を変わったことをしている」と言われたこともありました。

古材は一点モノのため、同じモノを大量に生産することはできません。しかし、一つひとつ状態が異なる梁や板、大黒柱などを30種類以上の独自の規格に部品化・部材化することによって、各々表情が異なる製品を作ることになりました。廃棄されることが多かった古材の活用場を広げ

ることができたとえ、環境面にも大変優しいものとなりました。このビジネスモデルでは、京都商工会議所主催の第5回の「知恵ビジネスプランコンテスト」において、知恵ビジネス認定をいただきました。

## ◆「京都の木の文化」を世界へ

これまで、木材販売が主な事業でしたが、昨年より不動産業者さんとコラボレーションして、京町家や店舗などの建物全体に古材を使ったプロデュースを開始いたしました。当社で長年培ってきた豊富な木の知識を活かし、建設業者さんともアライアンスを組んで、今後木にも囲まれた生活空間をプロデュースして参ります。

「日本の文化は木の文化」と言われている様に、日本人のDNAには「木」と共に暮らししてきた永い歴史が刻まれていると思います。仕事をするにしても住むにしても、コンクリートなどの無機質な物より「木」に囲まれている方が温かさや心地良さを感じられます。

当社には158年という長い歴史がありますが、それに甘んじるわけにはいきません。時代は日々刻々と変化しており、時代の波に対応して、新しい「木」の文化の創造に取り組んでいかなければ

なりません。「木」を通じてどの様に革新し続けるかが、当社の使命だと考えます。

これからも、「木」を通じて新しい価値を発信し、皆さまの暮らしが豊かになる提案をして参ります。そして小規模ながらも「キラッ」と光る様なオンラインワン企業になりたいと思っています。さらには、「オスカー認定」「知恵ビジネス認定」をいただいたことをきっかけにして、木材商が扱う木製品や「木」に対する考え方、「木の文化」を京都から全国へ、日本から世界へ発信・伝播していきたいと考えています。

企業名 株式会社 A 基  
代表者 代表取締役 小畑 隆正  
住所 〒812-0297  
京都府伏見区横大路南角114  
連絡先 TEL 075-622-1400 FAX 075-622-1400  
創業 昭和61(1976)年(創業:安政6(1856)年)  
資本金 1,000万円  
事業内容 天然木フローリングの輸入卸、古材販売、  
木を使った店舗プロデュース  
U R L <http://www.muku flooring.co.jp>  
<http://www.kooki-chiba>

オスカー認定制度…経営革新により、持続的な成長が期待される将来性の高い中小企業を奨励・認定し、経営者を中心に支援を実施する制度です。  
〔オスカー認定企業〕は同制度により認定された企業。○認定企業数171件(平成29年3月31日現在)